1 目標指標とは(四万十川条例第36条)

目標指標:条例の目的の達成状況を把握し、進行管理を行うための指標(現状数値、目標数値、目標年度及び調査方法)

- ①水量が豊かで、かつ、清流が保たれていること
- ②天然の水生動植物が豊富に生息し、生育していること
- ③河岸に天然林が連なり、良好な景観が維持されていること
- ④人工林が適正に管理され、天然林とともに多様な森林が形成されていること
- ⑤季節ごとの優れた景観を有していること
- ⑥住民の安全かつ快適な生活が保たれていること
- ⑦川がこどもの遊びの場として活用されていること
- ⑧川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること
- ⑨流域内又は流域外との地域間交流が活発に行われているとともに、その活動が、住民の生活又は流域の 生態系に負荷を生じさせていないこと
- ⑩情報通信網が整備され、その活用が図られていること

具体化、調査方法、調査年度、目標数値を規定

目標指標(54項目)

清掃・農林業・地産・ 伝統催事など

四万十川の将来像

住民主体の取組

協働

行政主体の取組

公共工事·森林整備·排

水対策など

【目標指標年度】

平成19年度目標値

平成24年度目標値

>

平成29年度目標値

>

平成34年度目標値

(次期目標値)

2 平成34年度目標指標(案)について

○検討にあたっての考慮事項

- ・四万十川条例の将来像に沿った指標であること
- ・継続してデータ収集ができること(事業廃止や今後実施の見込みがない事業の反映)
- ・公開可能なデータであること
- ・目標値の設定について、他の計画と整合が取れること

○平成34年度目標指標(案)

項目名	平成29年度	平成34年度
生態系及び景観の保全	16項目	18項目
四万十川の水量が豊かで、清流が保たれ、生態系が保全されていること	8項目	10項目
森林、農地及び草地が適切に管理され、環境に配慮した経営が行われていること	8項目	8項目
生活・文化・歴史の豊かさの確保	38項目	36項目
住民の安全かつ快適な生活が保たれていること	6項目	5項目
四万十川がこどもの遊び場として活用されていること	7項目	7項目
四万十川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること	5項目	5項目
地域間交流が活発に行われていること また、その活動が住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと	6 項目	5項目
文化・歴史を保全活用していること	8項目	9項目
環境に負荷をかけないライフスタイルが保たれていること	6項目	5項目
合計	54項目	54項目

平成34年度目標指標(案)

1 生態系及び景観の保全:本来、自然が持つ機能を十分に生かしながら、多様な生態系や景観を重視した四万十川の保全を図る。【18項目】

(1) 四万十川の水量が豊かで、 清流が保たれ、生態系が保全されていること。 【10項目】

	<u> </u>		清流が保たれ、生態系が保全されて	検討結果	⊞太七法	** ² 現状値	日捶結	第22回禾号 全号 四面	 	参考資料 1
		項 目	(番号・項目)	快討桁未	調査方法	^{~~} 現状個	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	ベージ
[1]	住民	清流基準の達成度	①清流度の平均値(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	調査地点(本川5か所、支川5か所)で年4回(春、夏、秋、 冬)	9.1m	7.1m	-		1
	ШХ	/月川坐平の注が反	②水生生物の平均値(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	調査地点で年3回(春、夏、秋)測定	1.3ランク	1.3ランク	-	流域全体(平均値)では目標値を達成して いるが、調査地点単位では未達成の箇所が ある。	2
[2]	3 =π h	清流基準の達成度	①窒素の平均値(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	調査地点で年4回(春、夏、秋、冬)測定	0.28mg/L	0.35mg/L	-	ーのる。 また、継続的に目標を達成しているか判断 できないことから、目標値は変更しない。	3
[2]	11111	有肌を华の達成技	②りんの平均値(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	調査地点で年4回(春、夏、秋、冬)測定	0.009mg/L	0.015mg/L	-		4
		*1生活排水の浄化率 (汚水処理人口普及率)		□変更なし ■目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県公園下水道課に照会	69.80%	76.88%	-	「高知県全県域生活排水処理構想2018」 の目標値に変更する。	7
[5]	5】 住民 四万十川一斉清掃の参加率			□変更なし ■目標値変更 ■調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域市町に照会	13.27%	9.00%	-	現状値は、雨天により旧中村市が中止になり、参加率が高い値となった。 平成21年度から平成27年度の間に最も値の高かった"8.78%"を基準とし、目標値を9.00%とする。 集計方法を「参加者数/流域人口」に統一する。	
[6]	住民	水切り袋の普及率		■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域住民1,000人を対象としたアンケート形式による調査 (1回/5年)	76.70%	86.10%	-	目標値が未達成であったことから、現在の 目標値を継続する。	10
[7]	行政	環境に配慮した砂防・治	台山ダム数(累計値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	砂防施設:高知県防災砂防課に照会 治山施設:高知県治山林道課に照会	7基	_	-	基数が多いことが望ましいものの、具体的 な数値目標は設定しない。	11
_	行政	流域での学識者、有識者	音の活用件数(単年値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 ■項目削除	-	65件	-	-	実態の把握が困難であるため、項目を廃止する。	_
[8]	3】 行政 四万十川(具同・大正)における流況		における流況	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	国土交通省水質水文データベース、現地調査(水量感)による 把握	-	-	・具同以外に地点数を増やせないか。	四万十川の将来像として「①水量が豊かで、かつ、清流が保たれていること」と条例で定められているが、水量の指標がなかったことから、項目を追加する。 中流域の大正を追加する。	12
[9]	行政	四万十川における河床高	高の状況	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	旧市町村ごとに沈下橋 1 か所程度選定し、既往調査結果及び現 地測量による把握(次回平成34年度)	-	-	-	土砂流出が増えているなどの声が聞かれる ことから、河床高の経過を把握するため に、項目を追加する。	13
[10]	行政	魚類・底生動物の確認和	重数	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	河川水辺の国勢調査による把握	_	_	-	四万十川の将来像として「天然の水生動植物が豊富に生息し、生育していること」と 条例で定められているが、生物に関する指標がないことから、項目を追加する。	17

^{※1 「}生活排水の浄化率」は、住民・行政の項目であるため、2項目として集計

^{※2} 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

(2) 森林、農地及び草地が適切に管理され、環境に配慮した経営が行われていること。【8項目】

		項 目	(番号・項目)	検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1
[11]	住民	森林認証の認証状況	①認証団体数(累計値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県林業環境政策課に照会	4団体	-	-	認証面積は、目標値を達成しているが、管理しなければならない森林が伐採する時期に達しており、今後、認定を受けている森	10
			②認証面積(累計値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県林業環境政策課に照会	21,210ha	-	-	林が減る可能性があるため、目標数値を設 定しない	
			①化学肥料等に頼らない事業者数	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県環境農業推進課に照会	30	-	-	目標値を定めず数値の把握を行う。	20
[12]	住民	環境保全型農業の実施状況	兄 ②農薬低減等に取り組んでいる栽培面積	□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県環境農業推進課に照会	-	-		農薬使用量を把握できないため、「農薬・化学肥料の使用量の低減」の項目のみとしていたが、集計可能な農薬低減に取り組んでいる面積に調査方法を変更する。 高知県では、止水板の設置に関する地域特例がないため、集計できない。	21
[13]	は 住民 リサイクル肥料の年間生産状況 (単年値)		生産状況(単年値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県環境農業推進課へ照会 (肥料取締法に基づく届け出、市町村窓口への届出量より)	11,358 t			リサイクル肥料には、畜産以外も含まれていることから、 今までどおりの調査方法と する。	
[14]	住民 耕作放棄地の面積			■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	農林業センサス(5年ごと)による把握	660ha	-		荒廃地調査のデータは、基盤整備等を実施 せずに活用できる耕作放棄地を含まないこ とから、参考値として集計する。	
-	住民	農薬・化学肥料の使用	量の低減	□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	-	-	-	・【農薬・化学肥料の使用量の低減】と重複が大きい。有機農業だけではなく、「環境保全型」をもう少し広く捉えるもしくは内容を分割してはどうか。	【12】「環境保全型農業の実施状況」の 内容を分割し、当該項目に統合する。	-
[15]	行政	除・間伐の面積		■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県木材増産推進課に照会	2,055ha	_	-	目標数値を定めず数値の把握を行う。	24
[16]	行政	混交林の面積		■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県木材増産推進課に照会	589ha	_	_	目標数値を定めず数値の把握を行う。	25
[17]	2-147 I	環境先進企業との官民	①協働の森づくり事業における協定件数	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県林業環境政策課に照会	22件	_	-	目標数値を定めず数値の把握を行う。	26
11/1	XALL	協働の環境保全	②協働の川づくり事業等における協定件数	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	高知県環境共生課、林業環境政策課に照会	1件	2件	-	「協働の川づくり」「協働の海づくり」事 業があることから項目を追加する。	27
		有害鳥獣の捕獲数 、平成28年度実績(一語		□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	高知県鳥獣対策課に照会	-	-	・有害鳥獣の被害に関する項目を追加してはどうか。	有害鳥獣の被害状況を把握するため、 <u>有害</u> <u>鳥獣の捕獲数の項目を追加する。</u>	28

[※] 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

2 生活・文化・歴史の豊かさの確保:流域の人々の生活・文化・歴史の豊かさの確保と流域を訪れる人々が感じる魅力の向上に努める。【36項目】

(1) 住民の安全かつ快適な生活が保たれていること。【5項目】

		項目(番号・項目)	検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1
	- 住民	NPO法人の活動団体数	(累計値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 ■項目削除	_	31団体	_	【35】環境保全に取り組むNPO・ボランティアの団体数に統合		-
7.1	101 住民	情報通信網の普及率	①インターネットの普及率	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域住民1,000人を対象としたアンケート形式による調査 (1回/5年)	42.80%	45.00%		整備率は、今後、大きな変化がないため、 引き続き、現行どおり普及率を把握する。 速度別については、5G規格のサービスが	29
[19] [1		行刊以四日刊907日/火平	②携帯電話の普及率 (スマートフォン含む)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域住民1,000人を対象としたアンケート形式による調査 (1回/5年)	80.90%	88.50%	の普及率を調べてみてはどうか。	開始された場合に次回の目標指標の設定時に考慮する。	30
[2	20】 住民	生活満足度		■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域住民1,000人を対象としたアンケート形式による調査 (1回/5年)	67.60%	ı	-	目標数値を定めず数値を把握する。	31
				■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県道路課に照会	74.60%	-	いと考えられるため、1.5車線的道路整 備や中山間走行支援装置、通行規制区	道路改良普及率の集計方法は、変更しない。	32
[2)1】 /元政	ネットワーク道路の安 全・快適度		□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	高知県道路課に照会	-	-	間への電子情報版の設置といった取組の計測をしてはどうか。	中山間支援装置や電子掲示板の設置数の項 目を追加する。	33
			③交通事故発生件数(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県警察本部に照会(交通事故の概況)	1.1件	<u> </u>	_	項目としては、設定しないが、水難事故の 軽減の取組の進捗管理のため、参考値とし て、水難事故の年間発生件数を把握する。	34
[2	【22】 行政 地元中高卒者の地元就職率		率	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の中学校、高等学校に照会	28.40%	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	35
	【23】 行政 子どもの人数 (単年値) ※ 現状値は、平成28年度実績 (一部平成29年度実績)			■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県統計分析課(高知県推計人口データ)	7,120人	_	-	目標数値を定めず数値を把握する。	36

[※] 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

(2) 四万十川がこどもの遊び場として活用されていること。【7項目】

		項目(番号・項目)	検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1
[24]	住民	; 川で遊んだ子どもの割合	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の小学校、中学校に照会	68.20%	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	37
[25]	住民	カヌー、SUP等を体験した子どもの割合	□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の小学校、中学校に照会	15.30%	-	-	SUPなどを取り入れる学校もあることから、カヌーに限定せず、集計対象を川をフィールドとした遊びを体験した子どもの割合に変更する。	38
[26]	住民	川で魚やエビなどを捕ったことのある子どもの割合	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の小学校、中学校に照会	40.30%	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	39
[27]	行政	子どもが自由に魚を釣れる場所数	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の小学校、中学校に照会	全区間	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	40
[28]	行政	水生生物調査実施校の割合	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の小学校、中学校に照会	40.80%	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	41
[29]	行政	水質調査実施校の割合	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域の小学校、中学校に照会	32.70%	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	42
[30]	行政	自然体験型修学旅行の実施校数(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域市町に照会	19校	30校	-	目標値が未達成であったことから、現在の 目標値を継続する。	43

[※] 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

(3) 四万十川を生かした産業が活性化し、持続的に発展していること。【5項目】

		項 目	(番号・項目)	検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1
[31]	住民	農家民宿の軒数(単年値	ī)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県地域観光課に照会	28件	-		素泊まりの宿なども四万十川を生かした観光業であるが、これには、ホテルやキャンプ場も含まれることから、集計が困難であるため、引き続き現在の調査方法で集計する。	
[32]	住民	四万十ブランド認証の認証件数		□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	(公財)四万十川財団に照会	11件	_	_	今後、認証制度の見直しを行う予定となっており、その方向性が定まっていない状態で目標値を定め難いため、目標値は設定しない。	
		地産の状況(単年値)	①農協直売販売所等における地元農産 物の販売額	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県地域農業推進課に照会	1,923百万円	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	46
[33]	住民		②入漁券(日釣券)の販売額	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	四万十川上流淡水漁協、四万十川漁協連合会(各漁協)に照会	8,319千円	-	_	遊漁者が減少していることや遊漁者を増や すための施策を実施することは難しいこと から目標数値を定めず数値の把握を継続す る。	
		漁獲量(単年値)	アユの漁獲量			20,426kg	-	_	目標数値を定めず数値を把握する。	
[34]	行政		ウナギの漁獲量		農林水産統計及び高知県統計資料、西部漁協及び四万十市に照 会 	2,509kg	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	48
[34]	1311		アオノリの漁獲量			194kg	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	49
			テナガエビの漁獲量			37.6kg	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	
			①県有施設の木造化及び内装の木質化率 (新規公共建築物施設(国、県、市町村)における木造化率)	□変更なし ■目標値変更 ■調査方法変更	高知県住宅課に照会	73.30%	50%	_	建築される施設の用途に依存する指標と なっており、年度変動が大きいため、目標 値は変更しない。	50
[35]	∕≕™	公共事業における木材	①県有施設の木造化及び内装の木質化率 (県有施設の新規公共建築施設における木造木質化率)	 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県木材産業振興課に照会	-	100%	_	従前の調査対象に加えて「県有施設の木造 化及び内装の木質化率」を調査する。目標 値は「県産材利用推進に向けた行動計画」 で定められている値とする。	
[33]	1JEX	の利用状況(単年値)	②公共土木工事での木材利用量	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	高知県木材産業振興課に照会	9.99m3/億円	12m3/億円	・道路改良や法面緑化等、建物以外への使用についても調査対象としてはどうか。	建築物以外への使用を把握するため、公共 土木工事での「木材利用量」の項目を追加 し、目標値は「県産材利用推進に向けた行動計画」で定められている値とする。	51

[※] 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

(4) 地域間交流が活発に行われていること。

また、その活動が住民の生活又は流域の生態系に負荷を生じさせていないこと。【5項目】

			(番号・項目)	検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1 ベージ	
[36]	住民	環境保全に取り組む N P (累計値)	〇・ボランティアの団体数	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	森林の保全ボランティア:高知県林業環境政策課 その他環境保全関係:高知県県民生活・男女共同参画課	20団体	_	「NPO法人の活動団体	数(累計値)」の項目を統合	52	
[37]	住民	民 グリーンツーリズムの交流人口(単年値)		□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	(公財)四万十川財団に照会	56,884人	_	・連絡会の会員施設には飲食ほか様々なジャンルがあるため、集計方法については連絡会と事務局とで再度検討したほうが良いのではないか。	今後は、集計対象を四万十川すみずみツーリズム連絡会 会員施設における宿泊人数を当項目とする。 従前の集計対象である観光施設等の人口については、【39】「交流人口の状況」に統合し集計する。 目標値について、「四万十川すみずみツーリズム連絡会」で目標数値を定めていないため、 目標値を設定しない。	53	
_	住民	流域を支援する制度の会員数 (累計値)		□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 ■項目削除	_	1,414人	-	_	集計対象の流域を支援する制度の会員数が 必ずしも流域の保全と振興に寄与している ことではないため、当項目を削除する。		
[38]	行政	政 環境活動リーダー・インタープリター等の人数		□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	生物多様性こうち戦略推進リーダー(四万十川流域):環境共生課 四万十川リバーマスター:四万十川財団に照会	92人 (86人)			登録後の活動状況が不明であることから、 高知県が推進している生物多様性こうち戦略推進リーダーの流域内における登録者数及び四万十リバーマスターの登録者数に変更する。 目標値は、生物多様性こうち戦略推進リーダーは、四万十川流域に限定して目標を設定していない。また、四万十リバーマスターは、現在の登録者の維持と若返りを目指している段階であるため、 目標値は設定しない。	54	
		で流人口の状況 (単年値)		①四万十川(自然、景観、文化)を活 用したイベント等の入込客		流域市町に照会高知県観光政策課「県外観光客入込・動態調査報告」	1,186千人	_	_	四万十市に限定せず、四万十川(自然、景観、文化)を活用したイベント等の入込客数に変更する。	
			②流域の自然等を生かした観光(学習)施設等の利用者数	□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域市町に照会高知県観光政策課「県外観光客入込・動態調査報告」	186千人	-	_	四万十川の自然等を生かした観光 (学習) 施設、キャンブ場、バンガロー等の利用者 数に変更する。	57	
[39]	行 政		③流域の道の駅等の利用者数		流域市町に照会高知県観光政策課「県外観光客入込・動態調査報告」	5,389台/日			高速道路(須崎東IC)の1日当たりの利用台数を集計していたが、単なる通過地点となっている可能性があるため、流域の道の駅等の利用者数に集計方法を変更する。 係数は、従前は地元・県外の区分をせず集計しており、この指標の置き換えであることから数値の調整はしない。	58	
140	<i>4</i> =≠ -	海ばの10 (光ケ海)	①流域の人口	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県統計分析課(高知県推計人口データ)	66,107人	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	59	
[40]	行以	流域の人口(単年値)	②県外からの移住者数	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	高知県移住促進課に照会	118世帯 69人	-	・Iターン・Uターン者の数を把握して はどうか。	県外からの移住者数を把握するため、 項目 に追加する。	60	

^{※1} 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

^{※2} 現状値()は、調査方法変更後の数値

(5) 文化・歴史を保全活用していること。【9項目】

項目	(番号・項目)	検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1
	祭事の実施数 (累計値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域市町に照会	65件	66件	-	目標値が未達成であったことから、現在の 目標値を継続する。	61
【41】 住民 伝統祭事の実施状況	入込客数(単年値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 ■項目削除	流域市町に照会 高知県観光政策課「県外観光客入込・動態調査報告」	153,768人	-	- 【39】「交流人口の状況」の項目に統合する。		62
	①伝統漁法の許可件数 (単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	四万十川上流淡水漁協、四万十川漁協連合会(各漁協)に照会	518件	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	63
	②舟大工の人数 (単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	四万十川上流淡水漁協、四万十川漁協連合会(各漁協) に照会	4人	-	-	目標数値を定めず数値を把握する。	64
【42】 住民 伝統漁法の実施状況	③川漁師の人数(単年度)	□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	四万十川上流淡水漁協、四万十川漁協連合会(各漁協) に照会	3人	-	-	「専業川漁師」に限定しているが、本来は、四万十川流域で川漁によって収入を得られることが流域の自然や文化を守ることに繋がるという趣旨であることから、漁によって収入を得ている人数に変更する。	
【43】 住民 博物館・資料館の入場者	者数(単年値)	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 ■目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	四万十市、梼原町に照会	8,509人	-	-	管理者が目標値を定めていないことから、 目標値を設定しない。	66
【44】 住民 シンボル的伝統家屋等		■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域市町に照会	16箇所	16箇所	いう数字を把握してはどうか。数の データも残しつつ、活用物件数(該当	文化財等の活用の指標がなかったため、 【49】「文化財等の活用状況」の項目を 追加する。 調査方法は、流域市町に活用状 況を依頼し、集計可能な範囲の件数を把握 する。	
【45】 行政 適正に管理保存された》	沈下橋数	□変更なし ■目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	環境共生課・四万十川総合保全機構	48橋	48橋	-	平成28年に若井沈下橋が保存対象となったことから目標値を48橋に変更する。	68
【46】 行政 伝統漁具の保存・継承状況		□変更なし ■目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県歴史民俗資料館に照会	192点	192点	「伝統漁法」ということであれば、漁 具の保存のみに特化せずもっと広く捉 えてはどうか。もしくは漁具のみに特 化するのであれば、指標名は「伝統漁 具」に変更したほうが良いのではない か。	項目名を「伝統漁具」に変更する。 今後、新たに伝統漁法の漁具を収集する計 画がないことから、現在収集している漁具 を保存することを目標とし、目標値を192 点に変更する。	69
【47】 行政 有形·無形民俗文化財数	数、史跡・名勝・天然記念物数	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県文化財課に照会	59箇所	-	【44】と同様	【44】と同様	70
【48】 行政 重要文化的景観選定地区	区における重要構成要素の箇所数	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県文化財課に照会	323箇所	ı	【44】と同様	【44】と同様	71
【49】 行政 文化財等の活用状況		□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 ■項目追加 □項目削除	流域市町に照会	-	-	【44】と同様	【44】と同様	72
	収立成20年度宝績)							4

[※] 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

(6) 環境に負荷をかけないライフスタイルが保たれていること。【5項目】

	項目(番号・項目)			検討結果	調査方法	*現状値	目標値	第23回委員会意見概要	検討経過(理由)	参考資料1
[50]	住民	エコカー(低公害車)の	保有台数(単年値)	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県税務課に照会	2,756台	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	73
[51]	住	ゴミの排出状況(単年値)	①流域住民1人当たりの1日のゴミの量	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県環境対策課に照会	915g	843g	_	目標値が未達成であったことから、現在の 目標値を継続する。	74
[51]	住氏		②ゴミのリサイクル率	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	高知県環境対策課に照会	30.10%	45.90%	_	目標値が未達成であったことから、現在の 目標値を継続する。	75
[52]	住民	住民 生ゴミのたい肥化への取組状況		■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域住民1,000人を対象としたアンケート形式による調査 (1回/5年)	39.40%	_	_	目標数値を定めず数値を把握する。	76
[53]	3】 住民 レジ袋削減に「みんなマイバッグ」の取組状況		'イバッグ」の取組状況	■変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	流域市町に照会	6店	-	レジ袋が有料化されるという動きもあ るため、データの取り方も変わってく るのではないか。	現状はこのままとし、今後の国の動きを見 て判断する。	77
[54]	54】 行政 新エネルギー発電の導入容量(累計値)		容量(累計値)	□変更なし □目標値変更 ■調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 □項目削除	経済産業省資源エネルギー庁固定価格買取制度公開情報	47基 (70,565kW)	-	うか。 ・今の時代の流れで新エネルギーに関	設置基数では、発電量の把握が困難であることから、固定価格買取制度で買取を開始した量(導入容量)での集計に変更する。 調査方法は、資源エネルギー庁が公表している値とする。	78
-	- 行政 こどもエコクラブの登録数		数	□変更なし □目標値変更 □調査方法変更 □目標値削除・現状把握 □項目追加 ■項目削除	高知県新エネルギー推進課、環境共生課に照会	0 団体	-	-	子どもエコクラブ事業について、流域の小中学校の統廃合が進み、今後、新たに増える見込みもないことから、目標指標から除外する。	-

^{※1} 現状値は、平成28年度実績(一部平成29年度実績)

^{※2} 現状値()は、調査方法変更後の数値